



平成25年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年6月5日

上場会社名 エイケン工業株式会社 上場取引所 大
 コード番号 7265 URL http://eiken-kk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早馬 義光
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役工場長 兼総務部長 (氏名) 池田 文明 (TEL) 0537-86-3105
 四半期報告書提出予定日 平成25年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年10月期第2四半期の業績(平成24年11月1日～平成25年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年10月期第2四半期	2,213	△5.7	77	△11.9	89	△3.7	67	140.4
24年10月期第2四半期	2,347	2.9	87	△0.9	92	3.6	27	△38.5
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
25年10月期第2四半期	13.11		—					
24年10月期第2四半期	5.27		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年10月期第2四半期	5,038	3,522	69.9
24年10月期	4,835	3,543	73.3

(参考) 自己資本 25年10月期第2四半期 3,522百万円 24年10月期 3,543百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年10月期	—	0.00	—	11.00	11.00
25年10月期	—	0.00			
25年10月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年10月期の業績予想(平成24年11月1日～平成25年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,553	△2.7	182	△7.9	202	△5.5	125	△12.4	24.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年10月期 2 Q	7,200,000株	24年10月期	7,200,000株
25年10月期 2 Q	2,160,185株	24年10月期	1,993,185株
25年10月期 2 Q	5,132,163株	24年10月期 2 Q	5,307,968株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、昨年末に発足した新政権による景気回復策により、長期化していた円高が円安傾向に進み、輸出企業の収益の改善及び株価上昇等、景気回復に明るい兆しがあるものの、世界経済の低迷及び雇用情勢の改善がみられない等、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

こうした状況のなかで、当社が属しております市販メーカーにおいては、カーディーラーでの交換頻度が増えていること及びガソリンスタンドのセルフ化の影響を受けて厳しい状況になっているなかで、海外からの安価な商品の流入等、当社を取り巻く経営環境は一段と厳しさを増しました。

このような環境の中にあつて、当社は、売上高は22億13百万円（前年同四半期比5.7%減）、売上高が減少したことが要因となり、営業利益は77百万円（前年同四半期比11.9%減）、経常利益は89百万円（前年同四半期比3.7%減）となりました。前年同四半期累計期間に計上した投資有価証券売却損41百万円を計上しなかったこと、補助金収入が6百万円増加したこと及び保険解約返戻金を8百万円計上したことが要因となり、四半期純利益は67百万円（前年同四半期比140.4%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

(フィルター部門)

売上高に関しては、国内売上は同業者向け及びカーショップ向けが減少し、輸出売上は東南アジア及びヨーロッパ向けが増加しました。営業利益に関しては、国内売上が減少したことが要因となり減少しました。

その結果、売上高は20億71百万円（前年同四半期比7.1%減）、営業利益は1億61百万円（前年同四半期比12.1%減）となりました。

(燃焼機器部門)

売上高に関しては、熱交換器及びバーナ部品の売上高が増加しました。営業利益に関しては、売上高が増加したことが要因となり増加しました。

その結果、売上高は1億41百万円（前年同四半期比21.2%増）、営業利益は24百万円（前年同四半期比83.6%増）となりました。

(その他)

前事業年度より、車載用加湿器及びティッシュケース等の販売を開始しました。

その結果、売上高は71万円（前年同四半期比35.7%減）、営業損失は1百万円（前年同四半期は営業損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、28億55百万円（前事業年度末比6.2%増）となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が34百万円、商品及び製品が50百万円減少したものの、現金及び預金が2億43百万円増加したことによるものです。

固定資産は、21億82百万円（前事業年度末比1.7%増）となりました。主な要因は、建物が29百万円減少したものの、保険積立金が48百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は、50億38百万円（前事業年度末比4.2%増）となりました。

(負債)

流動負債は、13億19百万円（前事業年度末比18.6%増）となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が24百万円、未払法人税等が62百万円、賞与引当金が98百万円増加したことによるものです。

固定負債は、1億96百万円（前事業年度末比9.4%増）となりました。主な要因は、退職給付引当金が10百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は、15億15百万円（前事業年度末比17.3%増）となりました。

(純資産)

純資産合計は、35億22百万円（前事業年度末比0.6%減）となりました。主な要因は、利益剰余金が10百万円及びその他有価証券評価差額金が30百万円増加したものの、自己株式が61百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の第2四半期累計期間末残高は、税引前四半期純利益が1億5百万円となったこと、減価償却費が1億14百万円となったこと及び定期預金の払戻による収入が1億72百万円となったことにより、5億6百万円(前事業年度末比2億85百万円増)となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が1億5百万円となったこと、減価償却費が1億14百万円となったこと及び賞与引当金が98百万円の増加となったことにより、4億66百万円の収入(前年同期比3億29百万円増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入が1億72百万円となったこと及び投資有価証券の償還による収入が20百万円となったものの、定期預金の預入による支出が1億30百万円となったこと、有形固定資産の取得による支出が59百万円となったこと及び保険積立金による支出が48百万円となったことにより、40百万円の支出(前年同期比4億63百万円減)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式取得による支出が61百万円となったこと及び配当金の支払額が57百万円となったことにより、1億41百万円の支出(前年同期は3億90百万円の収入)となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績を勘案し、平成25年5月20日に業績予想の修正を行っております。

なお、当該修正に関する開示は、平成25年5月20日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年10月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	822,323	1,065,617
受取手形及び売掛金	1,104,074	1,069,890
商品及び製品	518,609	468,208
仕掛品	26,887	24,656
原材料及び貯蔵品	148,896	141,498
その他	68,915	86,999
貸倒引当金	△1,117	△1,080
流動資産合計	2,688,590	2,855,791
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	899,534	870,294
その他(純額)	956,040	954,827
有形固定資産合計	1,855,575	1,825,121
無形固定資産	8,157	5,949
投資その他の資産		
その他	284,090	352,152
貸倒引当金	△826	△751
投資その他の資産合計	283,264	351,401
固定資産合計	2,146,997	2,182,472
資産合計	4,835,587	5,038,263
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	196,088	220,558
短期借入金	730,000	710,000
未払法人税等	32,106	94,300
賞与引当金	24,906	123,500
その他	129,583	170,993
流動負債合計	1,112,684	1,319,351
固定負債		
退職給付引当金	115,750	125,981
役員退職慰労引当金	4,386	4,386
資産除去債務	10,173	10,173
その他	49,360	55,977
固定負債合計	179,671	196,518
負債合計	1,292,356	1,515,870

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年10月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,800	601,800
資本剰余金	389,764	389,764
利益剰余金	3,438,129	3,448,139
自己株式	△893,520	△954,982
株主資本合計	3,536,173	3,484,722
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,057	37,670
評価・換算差額等合計	7,057	37,670
純資産合計	3,543,231	3,522,393
負債純資産合計	4,835,587	5,038,263

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
売上高	2,347,798	2,213,959
売上原価	1,989,308	1,874,689
売上総利益	358,489	339,270
販売費及び一般管理費	270,770	262,033
営業利益	87,719	77,236
営業外収益		
受取利息	128	477
受取配当金	2,024	3,202
投資有価証券評価益	1,152	—
受取賃貸料	3,053	6,860
その他	1,781	5,774
営業外収益合計	8,140	16,314
営業外費用		
支払利息	996	2,140
売上割引	1,976	1,832
その他	180	299
営業外費用合計	3,153	4,272
経常利益	92,705	89,279
特別利益		
固定資産売却益	—	273
投資有価証券売却益	—	802
補助金収入	1,450	8,006
保険解約返戻金	—	8,545
受取保険金	454	—
特別利益合計	1,904	17,627
特別損失		
固定資産除却損	585	977
投資有価証券売却損	41,950	—
特別損失合計	42,535	977
税引前四半期純利益	52,074	105,928
法人税、住民税及び事業税	75,930	91,565
法人税等調整額	△51,849	△52,922
法人税等合計	24,081	38,642
四半期純利益	27,993	67,285

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	52,074	105,928
減価償却費	115,417	114,367
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,555	10,230
賞与引当金の増減額(△は減少)	97,484	98,593
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△55	△112
受取利息及び受取配当金	△2,153	△3,679
支払利息	996	2,140
固定資産売却損益(△は益)	—	△273
固定資産除却損	585	977
投資有価証券売却損益(△は益)	41,950	△802
投資有価証券評価損益(△は益)	△1,152	—
保険解約返戻金	—	△8,545
受取保険金	△454	—
補助金収入	△1,450	△8,006
売上債権の増減額(△は増加)	△29,235	39,893
たな卸資産の増減額(△は増加)	△55,017	60,030
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,280	24,470
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	25,148
未払消費税等の増減額(△は減少)	△36,071	26,934
その他	△5,365	△11,848
小計	174,829	475,449
利息及び配当金の受取額	3,046	4,459
利息の支払額	△993	△2,134
法人税等の支払額	△40,917	△27,371
補助金の受取額	1,450	8,006
保険金の受取額	454	8,545
営業活動によるキャッシュ・フロー	137,869	466,953
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△128,000	△130,000
定期預金の払戻による収入	172,000	172,000
有形固定資産の取得による支出	△565,402	△59,369
有形固定資産の売却による収入	—	300
有形固定資産の除却による支出	—	△146
投資有価証券の取得による支出	△5,731	—
投資有価証券の売却による収入	8,050	11,396
投資有価証券の償還による収入	—	20,000
無形固定資産の取得による支出	△550	—
保険積立金の積立による支出	△5,192	△48,695
その他の支出	—	△6,941
その他の収入	20,130	502
投資活動によるキャッシュ・フロー	△504,697	△40,954

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	480,000	△20,000
自己株式の取得による支出	△20,100	△61,646
リース債務の返済による支出	△2,710	△2,710
配当金の支払額	△66,712	△57,187
財務活動によるキャッシュ・フロー	390,476	△141,544
現金及び現金同等物に係る換算差額	143	839
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	23,793	285,294
現金及び現金同等物の期首残高	151,053	221,323
現金及び現金同等物の四半期末残高	174,846	506,617

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間(自平成24年11月1日至平成25年4月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第2四半期累計期間(自平成24年11月1日至平成25年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	フィルター 部門	燃焼機器 部門	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,071,500	141,743	2,213,243	716	2,213,959	—	2,213,959
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,071,500	141,743	2,213,243	716	2,213,959	—	2,213,959
セグメント利益 又は損失(△)	161,444	24,577	186,022	△1,861	184,160	△106,924	77,236

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に総務部等管理部門の一般管理費及び研究開発費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自平成24年11月1日至平成25年4月30日)

該当事項はありません。

以上